

2013

12・23

毎週月曜  
第5週除く

第843号

## 週刊ビル経営

現状復帰不要・内装も自由に  
スケルトン渡しの新タイプオフィス誕生へ

## イーソーコ総合研究所

共同で開設されている。同オフィスが置かれる新しいタイプ「第3東運ビル」は港区芝浦に立地する、昭和49年竣工のもとの倉庫。こう

来年1月、入居者が内装を自由に改装できるスケルトンタイプのオフィスをオープンする。トントン渡して、原則として「DIYオフィス芝浦」現状復帰も不要だ。入居者はクリエイティブな職種が、既存物件との競合は

は、倉庫物件・物流不動産の総合コンサルティンクのエーソーコ総合研究所（東京都港区）が、空間デザイン・プロデューサーを手がけるツクルバ（東京都渋谷区）などとサポートなど特典も用意を構築することで要望が

叶えられ、また現状復帰不要や内装費の削減といったコスト的なメリットもある。

貸室は約35㎡～46㎡までの3室で、賃料は管理費抜き・税抜きで14万8000円から。近隣の相場より若干高めの設定だが、既存物件との競合は考えにくい。イーソーコ総合研究所では実験的プロジェクトと位置付けているが、築古ビルの活性化策として普遍的な有効性を持つのではないだろうか。